

おしえて ななちゃん

国民年金Q&A



Q 年金特別便がまだ送られてきません。これから送られてくるのでしょうか？

A 年金特別便をまだ受け取っていない国民年金・厚生年金加入者に対しては、6月から10月にかけて順次発送する予定です。送付先は、加入している年金組合に登録されている住所になります。住所などの変更手続きが済んでいない方には届かない可能性もあるので、各勤務先および市役所で住所変更などの手続きを早急にしてください。

手元に届いたら、自分の記憶と特別便に記載されている赤十字防災ボランティア

一般説明会を開催します



災害、他人事だと思つていませんか？あなたは災害のとき、家族や知人の手助けができませんか？「今、なぜ防災なのか」「自分に何ができるのか」を一緒に考えましょう。あなたの力を貸してください。日時：平成20年6月11日(水) 10時～16時 昼食は災害非常

記録とに相違がないかどうか、よくご確認ください。間違いや記録漏れがない場合は必要個所に、つけ、旧姓等を書いて返送してください。間違いや記録漏れがあった場合は、ない場合と同じく必要個所に、と旧姓を書いた上で、抜けている記録や自分の記憶とは異なる記録を回答票に記入して返送してください。問 年金特別便専用ダイヤル 0570・058・555 (IP電話・PHSの場合) 03・6700・1144、市民課国保年金班 73・0086、市民室 67・3111

8020運動 標語・作文募集

80歳で20本の歯を保つことを目的とした8020運動の標語と作文を募集します。内容：むし歯や歯周病にならないように実践していることや考えていること(作文は400字詰め原稿用紙5枚以内) 応募方法：住所・氏名を書き6月20日(金)までに健康管理課(T28912144、匝瑳市八日市場イ240811)まで郵送 小・中学生は各学校へ

問 健康管理課 73・1200

目指してみませんか 介護支援専門員

介護支援専門員実務研修受講試験の申込書を配布します。試験日：10月19日(日) 申込書記布期間：6月24日(火) 7月25日(金) 配布場所：県社会福祉協議会、県保険指導課、県健康福祉センター、匝瑳市役所高齢者支援課、支所保健福祉室、匝瑳市社会福祉協議会 問 県社会福祉協議会 73・043・204・1610

口腔保健週間

ありがとう いつもはたちく 歯に感謝



6月4日～10日は口腔保健週間(歯の衛生週間)です。食べることは、命を支える大切なこと。からだの健康を保ち、おいしく食べるには「歯」は欠くことのできないものです。しっかりとむし歯で、だ液の分泌も促進され、消化吸収もよくなります。20本以上の歯があればほとんどの物をかみ砕くことができ、味を楽しみながら食事ができます。

80歳になっても自分の歯を20本保つことは健康で長生きするための大切な目標といえます。歯を失う原因は歯周病が50%、虫歯が40%です。この機会に自分の口の中をしつかり点検し、歯周病やむし歯から歯を守りましょう。市では20歳以上の方を対象に歯科健診を実施します。ぜひ、ご利用ください。 問 健康管理課 73・1200

短歌

土屋耕一推薦

高齢者と言はるる迄に長らへて介護保険の記 事心して読む 大木よ志子 いろいろの薬を入れし子の靴仕事一途を不憫 に思ふ 大木ヨシ子 訪ねるは叶わぬ身なれど桜咲くと聞けばおの づと心華やぐ 太田 玲子 神宮に詣でてベンチに休みおれば芝生の三毛 猫そばに寄りくる 林 かつ 彼岸近く腰を伸ばして墓石を拭けば浮かびく る吾子のまぼろし 土屋 静枝 日毎来てわれの手足を揉みくる夫に男の力 見たりぬ 戸村とき子 つどいたる友らの写真それぞれに八十路とな りし老い顔にあり 鈴木 精 病床に紅葉のような見舞の手「爺ちゃん早く 一緒に遊ば」 椎名 昭雄

文芸コーナー



福沢諭吉との交流

菅治兵衛の足跡

匠探

(27)

福沢諭吉と交流のあった菅治兵衛(すげいへえ)について、神奈川県立歴史博物館から問い合わせがありました。

菅は明治時代の人で、樺海小学校の前身・作新(さくしん)学校を創設するなど、教育や政治経済活動に私財を投じ、文明開化の動きのなかで、その活動は大きな足跡を残しました。

樺村(樺海地区)の豪農に生まれた菅は、若くして佐倉藩校(現在の佐倉市)に学びました。故郷に帰った菅は、1869年(明治2年)36歳

の時に私費を投じて学校を設立しました。これが私塾「作新精舎」で、明治初頭の小学校設立のさきがけとなりました。

佐倉藩校から招いた高野隆ら教育者と明治12年民権派の政治結社「協和社」を結成し、作新精舎で演説会を開くなど政治活動にも力を入れました。

福沢諭吉は、三度の欧米視察を経て明治元年に慶應義塾を設立し、思想家、教育者、ジャーナリストとして活躍しました。

今回、福沢が菅治兵衛にあてた手紙が見つかったことで、調査依頼がありました。

福沢と菅との手紙のやりとりは、明治12年から同29年まで17年におよび13通が確認されています。

菅は福沢が中心となつて結成した東京の社交クラブ「交詢社(こうじゆんしゃ)」に入会したことで、明治13年ごろから交流が始まったようです。

やりとりした手紙の内容は、おもに「金銭貸借」に関するものです。菅の生家が醤油醸造業を営む豪農だったとはいえ、明治初年から学校設立や政治団体結成、明治13年から同17年まで県会議員を務めるなど多額の費用が必要だったのでしょう。

20年代後半の手紙から、それら不足資金は福沢を通じて工面していたようで、菅は福沢名義の千葉県内の土地処分に関係するなど菅が1歳年長だったこともあってか、福沢から大きな信頼を得ていたようです。

明治時代後半の菅の活動は、民間の社会教化団体・日本弘道会の匠探支会の設立、匠探農商銀行設立などに尽くしました。また、樺新田開発のよすをまとめた『樺新田開墾事略』を出版するなど文化面での活動も知られています。

菅治兵衛は晩年、「憂を忘れ道を楽しむ」生活を送ったとされ、大正7年86歳の生涯を終えました。

菅は福沢が中心となつて結成した東京の社交クラブ「交詢社(こうじゆんしゃ)」に入会したことで、明治13年ごろから交流が始まったようです。



常福寺(樺)にある菅治兵衛の碑



力作募集中
あて先...匠探市秘書課広報聴班
〒289-2198 匠探市八日市場八793番地2
☎73-0080、FAX72-1114

川口城司推薦
朝明けのみどりの大気吸ひ込めば今日を生き
なむ力身に湧く
大木 政子
始めてに訪ひ来し曾孫はつる無き円ら眼われ
を直と見つむる
小川 知至
かまびすしき老人医療は余所事と紫鉄線色濃
く咲きぬ
石田 秀子

俳句

西野棠雨推薦

渡船場の残る利根川風光る
歩くこと覚えて轉ぶ端午かな
落慶の成田総門風光る
風見鶏くるりと回り五月来る
薫風や寺の孔雀が屋根にある
薫風や寺の孔雀が屋根にある
夏立つや岬に鳥賊を焼く匂ひ
学校の前も後も植田かな
中村 和子

川柳

高梨果宝推薦

満腹の回転寿司の茶のうまさ
諭吉翁循環良くて落ち着かず
訪問着巡り巡って娘に着させ
景勝地巡航船で早回り
スピードが出過ぎタイヤが飛んで来る
伊藤さここ
ちゃん付けで呼ばれ子供に還つてる
榎本ひかる

生涯を青春の気で生きる自負
攻めを変え一泡ふかす策を練る
鈴木十世志
川口城司推薦
母の日に届くシャクナゲ花つぼみ加瀬きよ子
日中の平和の使節パンダ待ち
嶋田テル子